

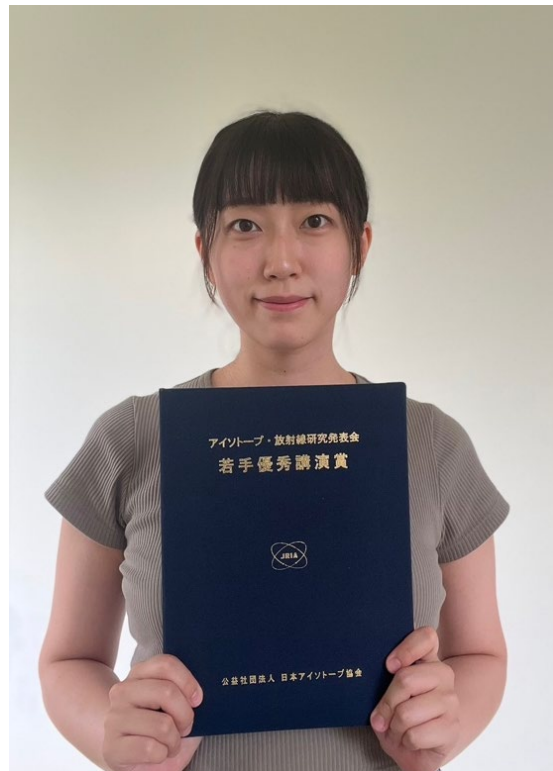
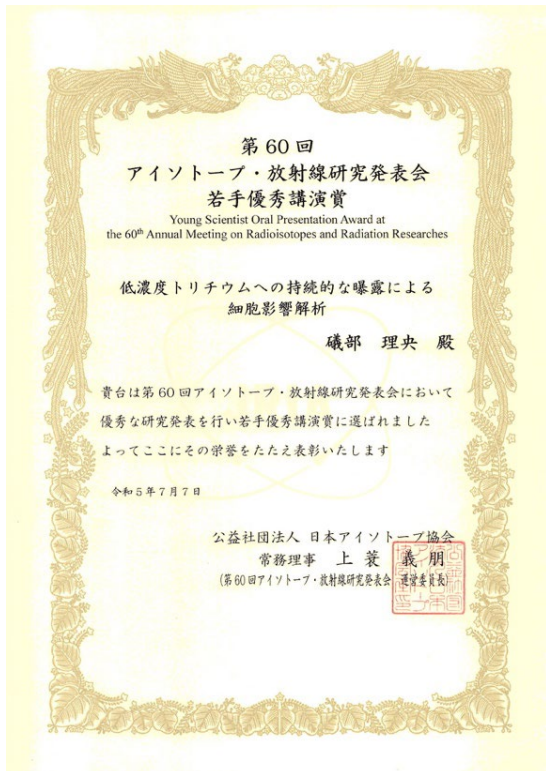
アイソトープ・放射線研究発表会 若手優秀講演賞を受賞しました（2023/7/7）

テーマ：災害放射線医学、放射線影響、トリチウム
会場：第60回アイソトープ・放射線研究発表会
URL：<https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/post-4.html>

災害医学研究部門災害放射線医学分野（千田浩一教授）に所属する大学院生の礒部理央氏が、2023年7月7日（金）に第60回アイソトープ・放射線研究発表会で「若手優秀講演賞」を受賞しました。本研究会で優秀な口頭発表を行った学生および若手研究者を表彰することで研究活動の奨励を目的とする本賞は、2012年から実施されてきました。

礒部理央氏の演題タイトルは「低濃度トリチウムへの持続的な曝露による細胞影響解析」（礒部理央、鈴木正敏、木野康志、石川諒椰、福本学、千田浩一）で、排水濃度規制値を含む従来よりも低い濃度でトリチウム水および有機結合型トリチウムを持続的に処理したヒト正常上皮細胞に誘発される細胞影響を解析し、特に有機結合型トリチウム処理による細胞影響の誘発ではトリチウムの取り込み量の他に細胞内局在が重要な要素となる新たな発見を報告した点が高く評価されました。受賞理由については、本研究会ホームページ上に掲載されています。

表彰式は本研究会最終日の2023年7月7日に行われました。



文責：鈴木正敏（災害放射線医学分野）